

# 12月えんだより

2017年12月1日

社会福祉法人神戸YMCA福祉会  
西宮つとがわYMCA保育園  
園長：谷川 尚

〒663-8223 西宮市津門川町2-14  
TEL (0798) 26-1016 FAX (0798) 26-1112

2017年度年間聖句：

「あなたがたは神に愛されている子どもです」

エフェソの信徒への手紙5章1節

12月聖句：

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」

ルカによる福音書2章14節

12月は一年で一番日照時間の少ない月です。夕方園庭に出るときおやつを食べてさあ外に出ようと思っても、園庭の暗さ、どんよりとした空模様にちょっと躊躇するようなときとなりました。そんな中、「でも12月はクリスマスがあるし、ちょっとすればお正月だ」というのは、陽（ひなた）が少なくなり気持ちも下向き加減の私たちの希望の光、となる人も（子どもも）少なからずいるのでは、と思います。

新年が1月に始まり12月に終わるのも、クリスマスが12月の末にあるのも、実は同じ理由から来ています。1年の暦はどんどん日照時間が増えていく、すなわち太陽の力と共に生命が息づいていく1月を起点に一番日照時間の少ない12月を終わりにしています。実は聖書にはクリスマスが1年のいつであるかは書かれていません。一説によると、クリスマスは12月25日としたのは、イエス降誕以降に当時ローマ世界にあった太陽神の祭事で12月25日頃の冬至を神の生まれる（太陽の力が増えていく最初の日）を祝っていたのをイエスキリストの降誕という喜びの日にした、とされています。

保育園ではこのクリスマスに、お祝いとしてゆり組は聖劇を、他のクラスでも表現あそびや歌をおうちの方々に披露しようと、楽しみをもって練習を重ねています。キリスト教では救い主イエスがこの世に遣わされたことを喜びとしてクリスマスのお祝いを持ちますが、子どもたちもクリスマスの喜びをおうちの方に伝えようと練習に取り組んでいます。それは他者の喜びが自分の喜びになるという大切な経験の時間ともなっています。しかも取り組みを通じて、自分の成長とともに仲間やグループでの達成感を感じる時間ともなっています。それぞれに与えられた賜物（天から与えられた力・個性）が磨き輝くことを知る時ともなっているのです。そうした中で、クリスマスの準備からその日までを通じて、子ども自身も、かかわる保育者も、おうちの方々も成長の中から先への希望を感じられることと思います。喜びや一人一人そしてみんなの賜物を知り、成長を感じる中で、先に照らされるものを感じ、希望が与えられます。

人間は争いを重ねる中で歴史を創ってきました。それは2000年前イエスキリストが生まれた世界でも同じだったと書かれています。しかし、未来を創っていくこともたちが、自分を知り、喜びを分かち合い、希望を与えられることは、「平和を創る」ことだと信じています。クリスマスはそうした「未来」に希望を見出す日です。子どもたちとともに大切に過ごしていきたいと思っています。

月主題	うれしいね	喜び合う
月のねがい	乳児（0.1.2歳児） ・クリスマスを楽しみに待つ ・保育者や友だちと一緒にクリスマスを喜ぶ	幼児（3.4.5歳児） ・クリスマスを待つ中で神さまの深い愛を感じ合う ・心を合わせて表現することを喜ぶ